

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 卷 第 35 号

第 35 週 (8月27日 ~ 9月2日)

発行年月日:平成19年(2007年) 9月 7日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

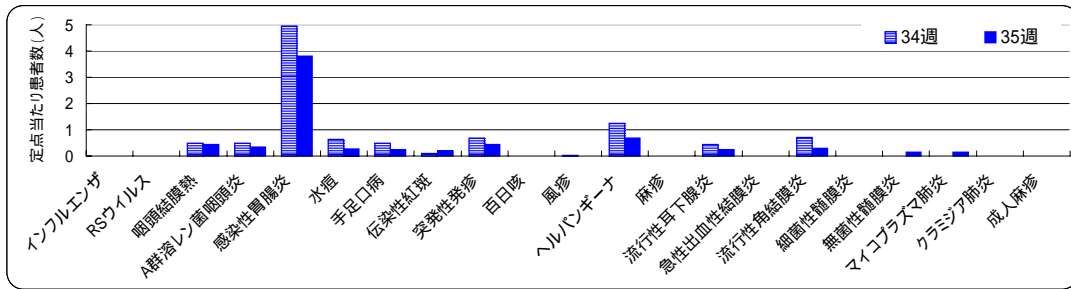
今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症は第21週以降、ほぼ毎週発生!

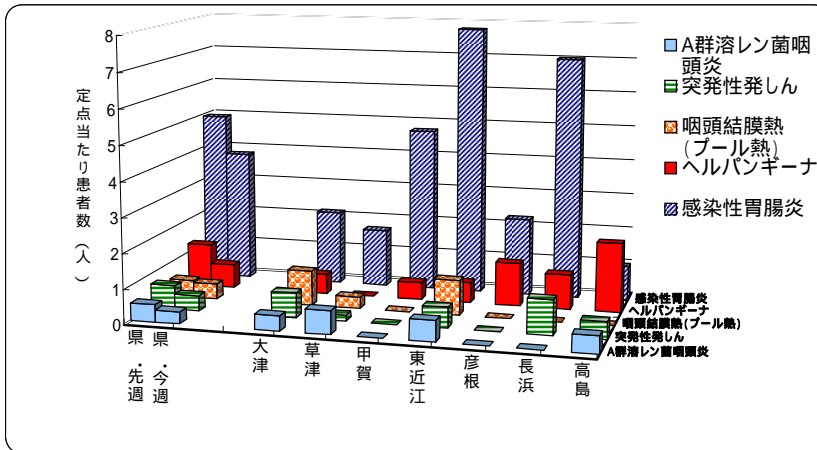
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数より減少しほぼ2/3の報告数となっています。大部分の疾患で先週より減少しており、増加した疾患は伝染性紅斑、無菌性髄膜炎およびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、先週と同様に咽頭結膜熱(プール熱)では大津および東近江に、ヘルパンギーナでは先週に引き続き高島に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

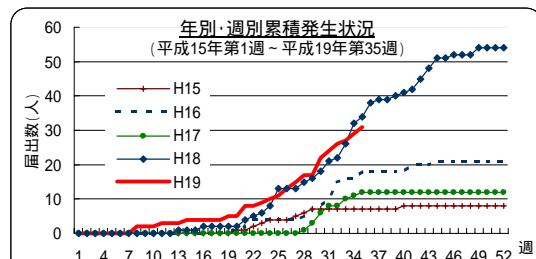
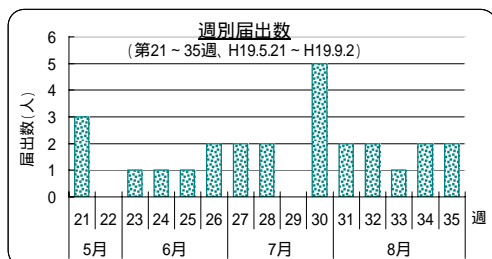


上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第35週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)、突発性発しん、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。感染性胃腸炎は甲賀、東近江および長浜で、ヘルパンギーナは彦根、長浜および高島で多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成19年第1~35週、H19.1.1~H19.9.2)



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (35週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (35週)	全国 (35週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	113	8,616	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	10	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	349	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	2	31	2,784	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	39	2	70
	A型肝炎	0	0	108	21	316
	デング熱	0	1	51	0	57
	マラリア	0	1	33	0	61
	レジオネラ症	0	6	402	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	531	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	155	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	97	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	68	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	6	961	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	34	1	87
	梅毒	0	0	446	4	625
	破傷風	0	0	64	1	115
	急性脳炎	0	2	160	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第35週(8/27～9/2) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 14例
二類感染症: 結核 259例	デング熱 1例	劇症型溶血性
三類感染症: 細菌性赤痢 11例	オウム病 1例	レンサ球菌感染症 1例
コレラ 1例	マラリア 3例	ウイルス性肝炎 2例
腸管出血性	日本紅斑熱 5例	アメーバ赤痢 12例
大腸菌感染症 228例	レジオネラ症 5例	ジアルジア症 2例
腸チフス 1例	レプトスピラ症 2例	梅毒 7例
		破傷風 2例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第30～35週、7/23～9/2)

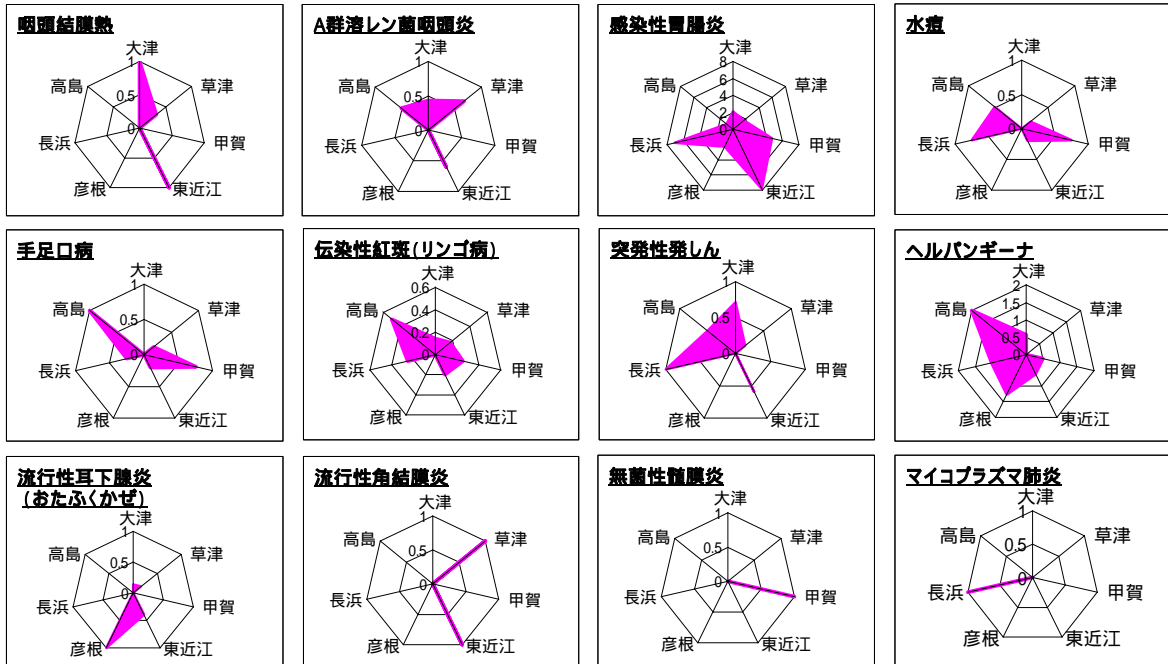
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	30週	31週	32週	33週	34週	35週	週					
	(7/23～)	(7/30～)	(8/6～)	(8/13～)	(8/20～)	(8/27～)	31	32	33	34	35	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0.03	0.13	0.06	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.91	0.69	0.47	0.22	0.50	0.44						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.31	0.59	0.28	0.50	0.34						
感染性胃腸炎	3.97	4.34	4.69	3.16	4.94	3.81						
水痘	0.78	0.66	0.56	0.28	0.63	0.28						
手足口病	1.09	1.09	0.84	0.56	0.50	0.25						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.75	0.53	0.47	0.09	0.09	0.19						
突発性発しん	0.69	0.69	0.50	0.53	0.69	0.44						
百日咳	0	0	0	0.03	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0						
ヘルパンギーナ	4.88	3.03	2.41	1.13	1.25	0.69						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.59	0.63	0.28	0.16	0.44	0.25						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.57	0	0.29	1.29	0.71	0.29						
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0	0.29	0	0.57	0	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第35週, 8/27~9/2)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.44	1.00	0.33	0	1.00	0	0	0	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.43	0.67	0	0.60	0	0	0.50	■
感染性胃腸炎	3.81	2.14	1.67	4.75	7.80	2.25	7.00	1.00	■
水痘	0.28	0	0.17	0.75	0.20	0	0.75	0.50	■
手足口病	0.25	0	0.17	0.75	0.20	0	0.25	1.00	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.14	0.17	0.25	0.20	0	0.25	0.50	■
突発性発しん	0.44	0.71	0.17	0	0.60	0	1.00	0.50	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.69	0.57	0	0.50	0.60	1.25	1.00	2.00	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.25	0.14	0.17	0	0.40	1.00	0	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	1.00	0	1.00	0	0	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	■
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4
 定点当たり患者数(人)

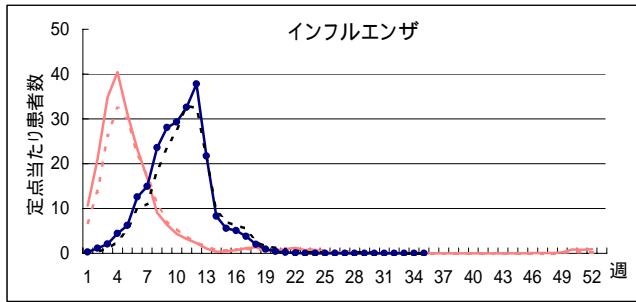
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



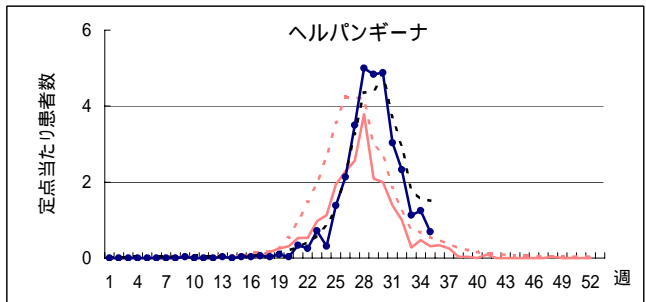
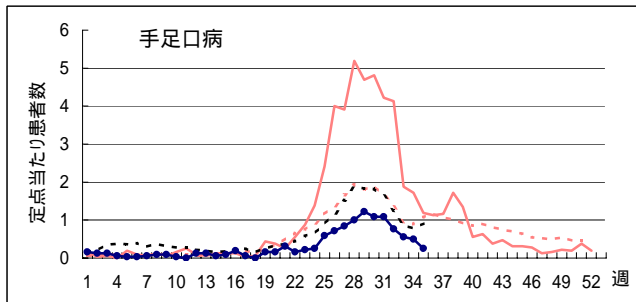
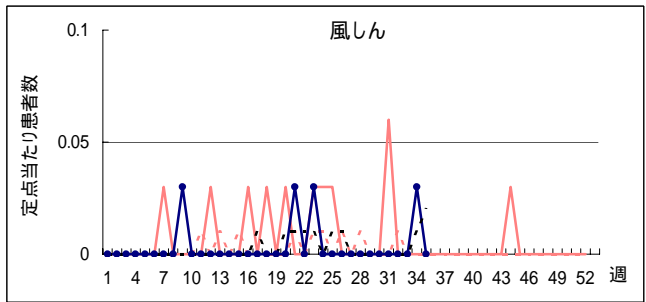
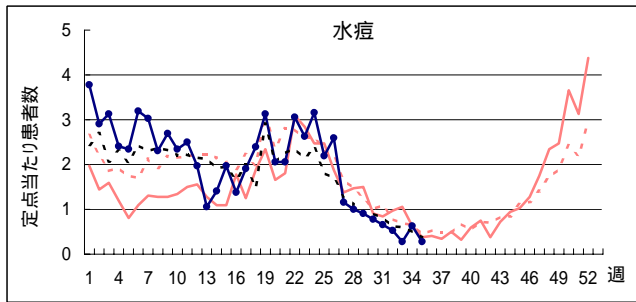
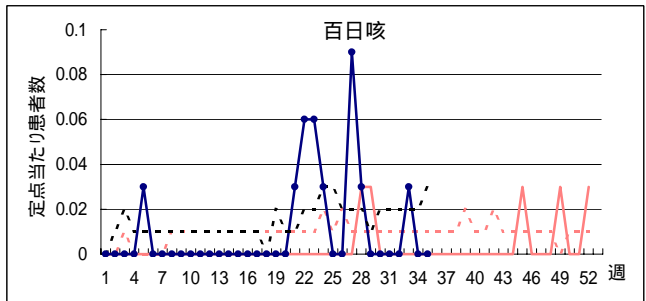
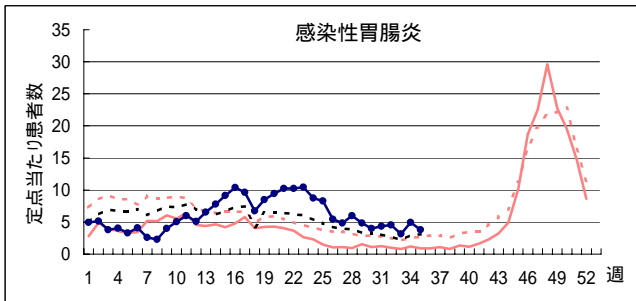
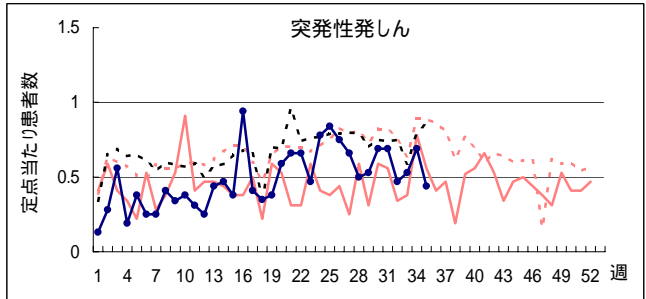
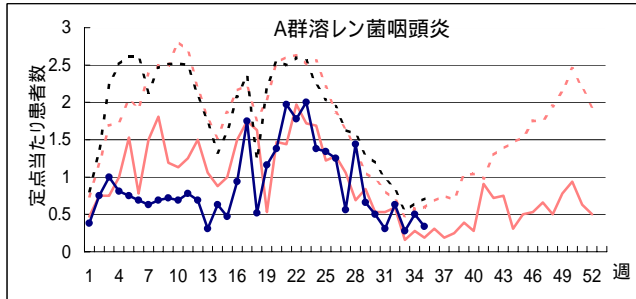
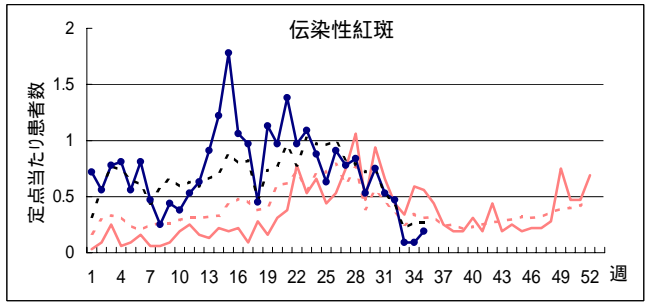
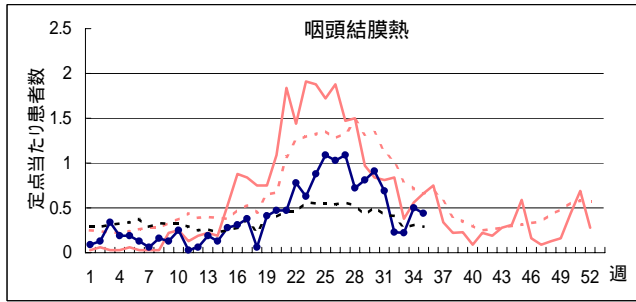
今週の発生状況：

- 咽頭結膜熱-----大津および東近江における定点当たり患者数が警報継続基準値(0.10)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。
- 感染性胃腸炎-----先週急増した長浜ではかなり減少していますが、先週に引き続き多い状態となっています。また、草津、甲賀および東近江では先週より増加しています。
- ヘルパンギーナ-----甲賀および彦根で先週より多くなっています。また、高島では先週よりかなり減少していますが、警報継続基準値(2.00)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第35週、H19.1.1～H19.9.2)



H18 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第35週、H19.1.1～H19.9.2)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 - - - - -

